

韓日フォーラム代表幹事・
韓日文化交流会議委員長

チョン グジョン
鄭 求宗



日本の民間国際交流に尽くして
きた山本正・国際交流センター理
事長をしくし、お付き合いをさせ
ていただいた韓国人の一人とし
て、一つの時代を失ったような喪
失感にかられている。

山本氏は、日韓フォーラムの代
表幹事として、知識人交流にも情
熱的に取り組んだ。私は1997
年、韓日フォーラムのメンバーの
一人となり、2002年からは韓
国側の代表幹事を務めた。日本側
の代表幹事である山本氏と10年
間、汗を流してきただけに、悲し
みはいっそう深い。

韓日・日韓フォーラムは90年代
半ば、「02年サッカーワールドカ
ップ日韓共催」を提案、実現させ
た。00年代の初めには、「羽田―
金浦」の直行路線の開設を日韓両
政府に促し、これも実現した。こ
うした提言を取りまとめ、政府や
関係機関にかけあつたのが山本氏
だった。日韓友好に寄与した役割
は計り知れない。

葬儀・告別式には日帰りで出席
することができた。鳩山由紀夫元
首相はじめ、日韓フォーラムのメ
ンバーだった前原誠司さんや加藤
紘一さんなど多くの政治家、各界
の著名な方々が出席した。山本氏
の生前の貢献がしのばれた。

思えばここ数年、日韓交流に力
を尽くした人が次々と亡くなって
いる。09年には、日韓文化交流会

故人の貢献胸に充実を

日韓の文化交流

議座長を務め、高句麗の古墳壁画
の再発見と保存に力を入れ、世界
文化遺産の指定に功績のあつた平
山郁夫先生が亡くなった。

10年には、在韓日本大使館公報
文化院長の高橋妙子公使が3年の
任期を終えて帰国。間もなく死去
した。高橋院長は日本の「新時代
外交官」として韓国の文化人、芸
術家の心に深く刻まれている。11
年には、日韓文化交流委員の一人
として両国文化のコラボレーショ
ンを進めてきた市川森一氏も失っ
た。

こうした方々を相次いで失った
空虚感あまりに大きい。両国の
文化、人的な交流に今後も携わっ
ていく私たちに託された責任の重
さを、あらためて思う。

そんななか、日本政府が財政赤
字のために、海外における文化芸
術や交流にかかわる予算をカット
するのではないか、といううわさ
が韓国まで聞こえてくる。気掛か
りでならない。

東日本大震災からの復興や、福
祉予算の拡大に苦心する日本政府
の立場は理解できる。しかし、日
韓の交流を担ってきた人びとをな
くしたうえ、予算まで大幅に削ら
れたら、両国の文化人の交流は萎
縮してしまう。そうなれば、日本
がこれまで積み重ねてきた海外と
の「絆」まで失いかねない。日本
政府に一考を求めたい。